

社会学委員会 東日本大震災後の社会的モニタリングと復興の課題検討分科会
(第24期・第4回) 議事要旨

1. 日時 平成30年4月16日(月) 10時00分～12時00分

2. 会場 日本学術会議2階大会議室

3. 出席者

吉原直樹、岩井紀子、町村敬志、岩淵明、玉野和志、増田聡、山下祐介、山川充夫、青柳みどり

(欠席)、島菌進

4. 議題

(1) 前回議事要旨の確認

(2) 話題提供：東日本大震災についての日本学術会議の対応について 大西 隆
(前日本学術会議会長、日本学術会議連携会員)

1. 日本学術会議における震災対応の経過について説明

*震災は21期の途中に起きた。大西会長は23期会長で22期の執行部の対応を引き継いだ形で対応し、23期に引き継いだ。

*21期では復興支援委員会を設置し、8つの分科会で対応。

*22期では全体とりまとめの分科会1つと、独立した4つの分科会を設置して対応。(「まちづくり」「(第一部中心に)就業支援」「放射能関連」「広域対応(震災廃棄物など)」)

*23期は上記の一部を継続し、「防災(防災学術連携体等)」「資料関連(関連学術団体の震災関係活動のとりまとめを中心)」などを追加して活動。また、国際的にも展開し、国連防災会議などに関与した。

*以下、大西会長が最近にいたるまで、いくつかのジャーナルに寄稿したものを中心にその時々のお考え、事情などについて説明があった。

(3) 次回以降の会合予定およびシンポジウムについて

*次回は6月25日(月) 10:00～14:00に分科会を開催する。震災関係アーカイブの構築について関係する4名の方に話題提供いただく。

*シンポジウムについては福島県内(福島大が候補)にて10～11月に開催する方向で準備を進める。